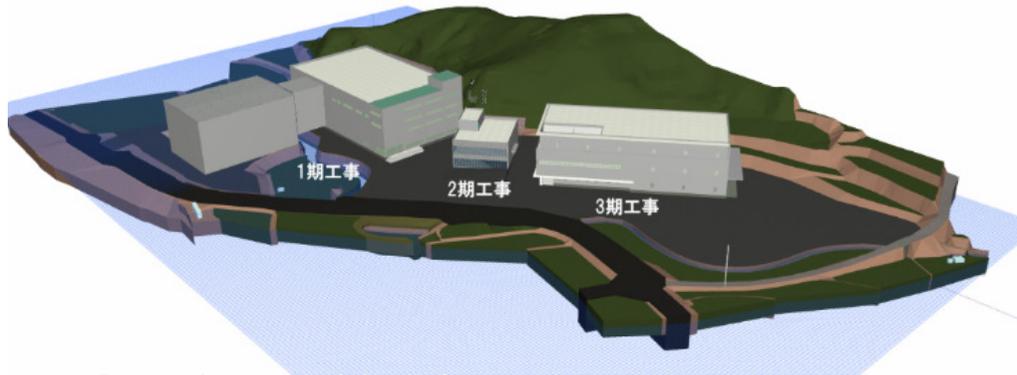


高取町

豊かな住民生活に貢献する新たな産業拠点の形成

ダイヤ製薬株式会社高取新工場立体配置図



建設地 高取町大字観覚寺291番地1ほか

2 取組の概要

【これまでの経緯】

- 企業及び地権者調整 平成23年～平成29年
- 地元住民説明会 平成30年2月
- 地区計画決定告示・縦覧 令和元年5月10日

【今後の予定】

- 上下水道整備 令和3年3月
- 建設工事 令和3年6月～令和5年3月
- 工場稼動 令和5年4月

【計画内容】

- 敷地面積 約2ha（周辺に約1haの緑地を配置）
- 工場建物 鉄骨造

1期工事	延床面積	5,500m ²	2階建
2期工事	延床面積	900m ²	2階建
3期工事	延床面積	4,400m ²	3階建

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 製薬業を始めとした産業の衰退が著しく、若者が雇用を求めて町外へと流出し、人口減少の大きな要因となっている。
- ② 企業進出の動向を見極めながら、周辺の環境と調和した産業拠点を形成するため、適正な土地利用の誘導が必要。
- ③ 市街化調整区域の性格を踏まえつつ、保全と活用が調和した効果的な土地利用を図るため、町都市計画マスタープランに基づき、交通利便性に恵まれた地区に地区計画を策定し、周辺の自然環境との調和に配慮しつつ、地域経済の基盤強化と雇用の場を確保。
- ④ 商工業の発展を目指す新たな産業拠点として、無公害型の製薬関連会社を誘致して、「くすりの町たかとり」の再興と活力あるまちづくりを目指す。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 地区の目指すべき将来像を設定するため、住民との協議に約7年を費やし、意見の集約と整理に苦労したが、ダイヤ製薬株式会社を始め金橋ホールディングスグループの企業誘致が実現。
- 平成27年7月に県とのまちづくり包括協定締結後、県と町との協働の取組が企業誘致に効果的に働いた。
- 企業誘致による税収アップと新たな雇用増など、町の活性化と経済波及効果を見込む。
 固定資産税の増収 土地、建物、機械設備など
 新たな雇用 30～40人（1期工事、パート従業員を含む）

詳しくは 高取町ホームページ <http://www.town.takatori.nara.jp/>

高取町

交流拠点施設ワニナルでの交流人口の創出



建設地 高取町大字上土佐62番地1

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 町内初となるチャレンジショップをオープンし、起業しやすい環境づくりと賑わいづくりの拠点とし、雇用の創出を図る。
- ② 施設周辺は空き家の活用が課題となっていることから、チャレンジショップが軌道に乗れば、近隣の空き家での開業を促し、空き家の解消と活用につながる。
- ③ 重点分野は、町交流人口の拡大。

2 取組の概要

- 高取城跡の城下町である土佐街道沿いにチャレンジショップと交流施設の機能を併せ持つ施設を建設し、若い世代の拠点として活用。（令和3年4月オープン）
- 地域住民とのワークショップやヒアリングでは「飲食店が少ない」や「若い世代の集まれる場所がない」との意見が多く、今回の整備でこれらを解消することにより、若い世代が魅力を感じ、今後も住み続ける町にする。



和になる高取
harmonic takatori

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 高取城跡の支障木を製材した木材をふんだんに使うことで、歴史的景観を色濃く残す土佐街道に見事にマッチした、町家風木造建築となった。
- 令和3年4月からチャレンジショップをオープンさせるべく、現在出店者を選定中。同じく、コミュニティスペースをオープンし、両施設の利用者を増加させることが目標。
- チャレンジショップを近隣の空き家を活用した開業に向けたモデルケースとして位置づけ、地域の人々と共に支援。

詳しくは 高取町ホームページ <http://www.town.takatori.nara.jp>